

—学 会 録 事—

1. 日本藻類学会第6回大会と日本藻類学会30周年記念講演会

昭和57年3月31日と4月1日の両日、筑波大学第2学群において、第6回大会が開催された。大会に先だつ3月30日には日本藻類学会30周年記念事業の一つとして記念講演会が筑波大学生命科学委員会との共催で同大学学生会館ホールで行われた。

大会は当日受付を含め、125名の参加があり、55題の講演（一般講演51題、うちポスター展示11題、シンポジウム4題）が行われた。

記念講演会は「日本における藻類学の進歩」と題し、中村義輝、廣瀬弘幸、西澤一俊、新崎盛敏の4氏による講演と山本海苔研究所の提供による映画「アサクサノリ」の上映が行われた。記念講演会には本学会員および一般来聴者約150名が参加した。

大会第一日目、一般講演終了後、昭和57年度総会と日本藻類学会30周年記念祝賀会が行われた。祝賀会は会長の挨拶に続く廣瀬弘幸氏の乾杯の音頭で始まり、新崎盛敏氏の閉会の挨拶の終るまでの2時間余、106名の出席者で賑わった。祝賀会々場入口では参加者全員に藻類がデザインされた笠間焼茶碗が30周年を記念して配布された。

記念講演会を共催して下さった筑波大学生命科学委員会と、大会、総会および祝賀会の開催に配慮をいただいた筑波大学生物科学系長市村俊英教授と大悟法滋講師に感謝申し上げる。

大会参加者：赤塚伊三武、秋岡英承、秋山 優、吾妻行雄、新崎輝子、新崎盛敏、有賀祐勝、安藤一男、井浦宏司、猪川倫好、井口数彦、石川依久子、市村輝宜、出井雅彦、出口真、伊藤市郎、巖佐耕三、岩崎英雄、内山茂、梅崎 勇、大島海一、太田雅隆、大谷修司、大野正夫、大葉英雄、大房 剛、大森長朗、岡崎恵視、岡部作一、小河久朗、奥田武男、奥田弘枝、長田敬五、長船哲斎、垣内政宏、笠井文絵、加崎英男、梶村光男、片田 実、片山 徹、加藤君雄、金子 孝、川嶋昭二、喜田和四郎、熊野 茂、黒木宗尚、後藤道美、小林艶子、小林 弘、小杉英一、今野敏徳、斉藤棲一、斎藤 実、阪井與志雄、崎山妙子、佐藤郷美、猿渡厚史、志村直美、新原義昭、須永 智、角田修次、瀬戸良三、造力武彦、高野秀昭、高橋宗弘、館脇正和、田中次郎、田中美智子、谷口和也、千葉尚二、千原光雄、寺尾公子、寺脇利信、鳥海三郎、中沢信午、長島秀行、中庭正人、中野武登、中村義輝、南雲 保、並

木岳志、西澤一俊、野崎久義、野田光藏、Nils T. HAGEN、橋田順子、長谷川由雄、畑野智司、服部 彩、馬場将輔、林田文郎、原 慶明、坂東忠司、平山知子、廣瀬弘幸、福島 博、藤井修平、藤田大介、藤原秀一、舟橋説往、堀 輝三、堀口健雄、前川行幸、正置富太郎、松江和則、松山恵二、真山茂樹、丸山 晃、萬谷司郎、三浦昭雄、水沢政雄、宮地和幸、森 通保、山岸高旺、山田家正、藪 熙、横浜康継、吉崎 誠、吉田忠生、吉武佐紀子、吉松定昭、渡辺恒雄、渡辺信、渡辺真之、渡辺途子、

2. 評議員会報告

3月30日、記念講演会終了後（18:30~20:30）筑波研修センターで評議員会が開催され、昭和57年度総会に提出される報告事項および議題等について審議があった。審議内容は後述の昭和57年度総会の項を参照されたい。

出席者：千原光雄会長、秋山 優、梅崎 勇、大森長朗、奥田武雄、加崎英雄、喜田和四郎、小林 弘、阪井與志雄、館脇正和、中沢信午、西澤一俊、廣瀬弘幸、三浦昭雄、山岸高旺各評議員、田中次郎、原 慶明、横浜康継各幹事、堀輝三編集委員長。

3. 編集委員会報告

評議員会に先だち、3月30日（17:00~18:00）筑波大学学生会館小会議室で編集委員会が開催された。その内容は評議員会で審議され、総会で報告されたので、総会の項に詳しい。

出席者：千原光雄会長、堀 輝三編集委員長、秋山優、巖佐耕三、岩崎英雄、黒木宗尚、小林 弘、西澤一俊、正置富太郎、吉田忠生各編集委員、渡辺真之編集幹事。

4. 昭和57年度総会

昭和57年3月31日、筑波大学における日本藻類学会第6回大会第1日目（17:00~18:00）に総会が開催された。千原会長の挨拶のあと、議長に小林 弘氏（東学大・教育）を選出した。報告事項と審議事項は下記のようなのである。

I. 報告事項

1. 庶務関係

(1) 会員状況（57年3月現在）名誉会員2名。普通会员493名。学生会員65名。団体会員42名。賛助会員13

名。外国会員70名。(2)昭和56年度文部省科学研究費補助金「研究成果刊行費」74万円を受けた。また引き続き57年度の申請を行った。(3)日本学会事務センターに学会事務の一部を委託する契約が57年度も締結された。(4)日本植物学会100周年記念大会開催時(東京, 9月28日から)に秋季集会(講演会と懇親会)を行う計画である。(5)昭和57年度中に次期会長および評議員の選挙が行われる。

#### 2. 会計関係

(1)会費納入状況は外国会員(約60%の納入率)以外は大変順調で90%を越える納入率である。(2)昭和56年度一般会計, 山田基金決算報告は昭和57年1月18日, 猪川倫好(筑波大・生物科学系)および渡辺 信(国立公害研)の両監事により適正であることが認められた。

#### 3. 編集関係

昭和57年3月までの学会誌の発行状況と投稿論文数について報告があった。昭和56年度に発行された29巻1~4号は総頁数288頁, 掲載論文36件, 広告16頁(19件)であった。30巻1号は102頁, 9論文で3月10日に発行された。現在30巻2号掲載予定論文と未審査論文を含め27編(欧文15編, 和文12編)が編集委員の手許にある。なお30巻1号より印刷部数が1100部(従来は900部)に変更になった。

#### 4. 評議員会関係

日本藻類学会30周年記念事業の内容と進行状況および同事業の募金委員会発足の経緯と募金状況が報告された。

## II. 審議事項

1. 昭和56年度一般会計決算報告・同監査報告。昭和56年度一般会計決算報告は表-1のとおりで, 承認された。

2. 昭和56年度山田幸男博士記念事業特別会計決算報告・同監査報告。同決算報告は表-2のとおりで, 承認された。

#### 3. 昭和57年度一般会計予算案

会費値上げしない場合の予算案と会費を値上げした場合の予算案(表-3)とが報告され, 審議の後, 後者が承認された。

#### 4. 会費値上げ案

表-4のとおり会費の値上げ案が提示され, 昭和57年度より同案を実施することが承認された。

#### 5. 日本学会事務センターへの委託業務内容の一部変更

従来学会事務局で行って来た国内, 国外の定期講読

の業務を昭和57年度より同センターに委託することが承認された。

#### 6. 編集関係

(1)印刷頁利用の方法の変更。従来定められていた奇数頁おこしの編集のワクをはずし偶数頁おこしも可能とすることが承認された。(2)別刷表紙の変更。別刷表紙は窓付を使用していたが廃止して, 以前の様式の表紙にすることが承認された。(3)速報論文の扱い方。2頁以内の速報論文を受付けることが承認された。但し1頁当り1万円(超過頁負担金に相当)の頁負担金を申し受ける。

#### 7. 昭和57, 58年度事業計画。

以下のことが承認された。(1)昭和57年9月28日より国立教育会館で開催される日本植物学会100周年記念大会の折に秋季集会(講演会, 懇親会)を開く。演者, 世話人は未定である。(2)昭和57年9月10日までに会長および評議員の改選を行う。開票立会人を吉崎誠氏(東邦大・理・生)と高橋正征氏(筑波大・生物科学系)に依頼する。(3)昭和58年度日本藻類学会第7回大会は, 北海道大学付属海藻研究施設長阪井興志雄氏の申し出により, 7月下旬頃に室蘭市で開催する。

#### 8. 西澤一俊先生名誉会員推薦の件。

元会長の西澤一俊先生は満70歳を迎えられ, 本会名誉会員に推薦された。

#### 9. 日本藻類学会30周年記念事業の件。

本会の創立30周年を記念して以下の事業の実施が承認された。(1)筑波大学生物科学系内に日本藻類学会30周年記念事業委員会を設置する。委員長は会長の千原光雄とする。(2)募金委員会を発足させ, 会員から選ばれた104名を募金委員とし, 委員長を黒木宗尚前会長とする。(3)記念講演会を昭和57年3月30日, 筑波大学学生会館ホールで開催する。(4)「藻類」30巻4号を記念増大号とし, 上記記念講演会の内容と日本藻類学会30年の歴史および記念号にふさわしい記事を掲載する。(5)「藻類」21巻1号から30巻4号までの索引を作成する。(6)日本藻類学会第6回大会2日目(4月1日)に若手, 中堅研究者によるシンポジウム「海中の植物群落—その解析的アプローチ」を開催する。(7)記念事業経費予算の100万円を目標に1口5千円で, 会員および会員以外からの寄付を募る。募金期間は57年3月から10月末日までとする。

なお総会終了後, 千原光雄委員長からより具体的な記念事業計画の説明と黒木宗尚募金委員長の就任の挨拶があった。

表-1 昭和56年度 一般会計決算報告 (56.1.1~56.12.31)

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	2,531,708	印刷費	3,837,299
（普通会員 475件）	1,828,000	〔印刷代(29巻1~4号, 春季大会プログラム)〕	
（学生会員 62）	155,000	〔別刷代〕	
（団体会員 24）	129,950	学会事務センター扱い分	1,088,830
（外国会員 45）	223,758	〔初年度経費, 業務委託費〕	
（賛助会員 13）	195,000	〔会誌発送費, 請求書発送費〕	
販売	742,100	〔コピー代他〕	
（定期(80件)）	475,500	発送費	95,230
（バックナンバー）	266,600	〔会誌発送, 札幌一筑波移転費〕	
別刷代(30件)	542,524	編集費	220,450
広告代(10件)	221,550	〔論文審査料, 英文校閲謝礼〕	
春季大会プログラム代	20,000	〔編集整理補助, 通信費〕	
預金利子	26,795	庶務費	216,827
文部省刊行助成金	740,000	〔事務用品費, 会議費〕	
		〔雑印刷費, 事務整理補助〕	
		送換金手数料	4,850
		春季大会運営補助	60,000
		幹事手当	72,000
		幹事交通費補助	14,540
小計	4,824,677	小計	5,610,026
前年度繰越金	1,594,095	予備費(次年度へ繰越)	808,746
合計	6,418,772	合計	6,418,772

昭和57年1月18日

本決算報告は適正であることを認める。

昭和57年1月18日

日本藻類学会 会長 千原光雄 ㊟

日本藻類学会 会計幹事 田中次郎 ㊟

日本藻類学会 会計監事 渡辺信 ㊟

日本藻類学会 会計監事 猪川倫好 ㊟

表-2 昭和56年度 山田幸男博士記念事業基金特別会計決算報告 (56.1.1~56.12.31)

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
学会出版物売上金	38,150		
〔山田追悼号〕	32,350		
〔コンプレックス文集〕	2,800		
〔日米セミナー記録〕	3,000		
預金利子	50,961		0
小計	89,111	小計	0
前年度繰越金	1,006,396	次年度繰越金	1,095,507
合計	1,095,507	合計	1,095,507

昭和57年1月18日

本決算報告は適正であることを認める。

昭和57年1月18日

日本藻類学会 会長 千原光雄 ㊟

日本藻類学会 会計幹事 田中次郎 ㊟

日本藻類学会 会計監事 渡辺信 ㊟

日本藻類学会 会計監事 猪川倫好 ㊟

表-3 昭和57年度一般会計予算案

日本薬類学会

収 入		支 出	
会 費	3,504,000	印 刷 費	4,060,000
（普通会員（475）	2,375,000	〔印刷代	3,460,000
学生会員（70）	245,000	別刷代	600,000
外国会員（42）	252,000	学会事務センター業務委託費	1,074,000
団体会員（44）	352,000	発 送 費	45,000
賛助会員（14）	280,000	編 集 費	272,000
販 売	900,000	〔論文審査料	65,000
（定期講読	560,000	英文校閲料	75,000
バックナンバー	340,000	通 信 費	60,000
別 刷 代	600,000	編集補助費	72,000
超過頁負担金	320,000	庶 務 費	180,000
広 告 代	320,000	〔事務用品費	52,000
利 子	40,000	会 議 費	48,000
文部省刊行助成金	740,000	事務整理補助費	36,000
		通信・雑印刷費	44,000
		幹 事 手 当	90,000
		幹事旅費補助	15,000
		春季大会補助	60,000
		選 挙 費 用	80,000
小 計	6,424,000	小 計	5,876,000
前年度繰越金	808,746	予 備 費	1,356,746
合 計	7,232,746	合 計	7,232,746

表-4 会費改正額およびバックナンバー販売価格改正額

現 行 改 正 額			現 行 改 正 額		
会費			学生会員		
普通会員	4,000 <sup>円</sup>	5,000 <sup>円</sup>	学生会員	2,500 <sup>円</sup>	3,500 <sup>円</sup>
外国会員	5,000	6,000	団体会員	5,000	8,000
賛助会員	15,000	20,000			
バックナンバー（1号）			国 外		
会員国内	1,000 <sup>円</sup>	1,250 <sup>円</sup>	国 外	1,250 <sup>円</sup>	1,500 <sup>円</sup>
非会員国内	1,500	2,000	国 外	1,800	2,500
インデックス			国 外		
会員国内			国 外	1,500 <sup>円</sup>	1,500 <sup>円</sup>
1～10巻	1,000 <sup>円</sup>	1,000 <sup>円</sup>		2,000	2,000
11～20巻	1,500	1,500			
非会員国内			国 外	2,000 <sup>円</sup>	2,000 <sup>円</sup>
1～10巻	1,500 <sup>円</sup>	1,500 <sup>円</sup>		2,500	2,500
11～20巻	2,000	2,000			
非会員予約購読料			年間国外（1巻）		
単価（1号）	1,500 <sup>円</sup>	2,000 <sup>円</sup>			\$48
年間国内（1巻）		8,000			

## 日本藻類学会第6回春季大会(57.3.31~4.1)会計報告

日本藻類学会 春季大会準備委員会

収入の部 (円)			支出の部 (円)	
大会参加費		282,000	印刷代	30,500
{ 予約申込 2,000円 96件		192,000	{ プログラム別刷代	20,000
{ 当日申込 2,500円 36件		90,000	{ 振替用紙印刷	10,500
祝賀会参加費	(101件)	202,000	学会会場費	17,176
寄付	(3件)	60,000	アルバイト代	232,290
学会補助金		60,000	祝賀会会食代	240,000
			雑費	56,321
			学会補助金返却金	27,713
合計		604,000	合計	604,000

昭和57年4月5日

日本藻類学会会計幹事 田中次郎 ㊞

## 日本藻類学会30周年記念事業募金委員会

昭和56年10月5日の評議員会および昭和56年11月10日の持回り評議員会における審議の結果前項に記述のように、日本藻類学会30周年記念事業が実施されることになった。これに伴い同記念事業委員会(委員長千原光雄)が設置され、また事業の財政措置に対応するために募金委員会が昭和57年3月1日に発足した。募金委員長には黒木宗尚前会長が就任し、委員には下記の方々の就任をみた。募金目標額は約100万円、募金期間は昭和57年3月1日~同年10月31日、申込先は日本藻類学会30周年記念事業委員会 振替 宇都宮 4-6598である。なお募金によって得た金額は主として「藻類」の記念増大号の出版費等に使用の予定である。

秋山 優	秋山 和夫	安達 六郎	新崎 盛敏	有賀 祐勝
安藤 一男	庵谷 晃	猪川 倫好	市村 輝宜	伊藤 市郎
糸野 洋	今田 克	今堀 宏三	入来 義彦	敵佐 耕三
岩崎 英雄	岩本 康三	梅崎 勇	梅林 脩	榎本 幸人
大野 正夫	大房 剛	大森 長朗	岡崎 恵視	小河 久朗
奥田 武男	小野 知足	梶村 光男	片田 実	加崎 英男
加藤 君雄	香村 真徳	川嶋 昭二	川端 清策	喜田和四郎
鬼頭 鈞	楠元 守	黒木 宗尚	熊野 茂	小林 艶子
小林 弘	斉藤 英三	斉藤雄之助	斉藤 譲	阪井與志雄
新村 敞	須藤 俊造	瀬戸 良三	造力 武彦	高野 秀昭
高橋 永治	田沢 伸雄	館脇 正和	田中 剛	谷口 森俊
千原 光雄	辻 寧昭	坪 由宏	津村 孝平	寺本賢一郎
徳田 廣	中沢 信午	中庭 正人	中野 武登	中村 義輝
西澤 一俊	西浜 雄二	野沢 治治	野田 光蔵	芳賀 卓
長谷川由雄	林田 文郎	原 慶明	原口 和夫	廣瀬 弘幸
福島 博	福田育二郎	福代 康夫	藤山 虎也	船野 隆
舟橋 説往	古谷 庫造	堀 輝三	前田 昌徹	正置富太郎
増田 道夫	松井 敏夫	三浦 昭雄	三上日出夫	右田 清治
宮田 益忠	藪 熙	山岸 高旺	山田 家正	山田 信夫
横浜 康継	吉崎 誠	吉田 啓正	吉田 忠生	四井 敏雄
渡辺 信	渡辺 恒雄	渡辺 信	渡辺 真之	

## 募 金 委 員 会 か ら の お 知 ら せ

昭和57年4月末日までに御寄付下さった方の御芳名は下記の通りです。

## 日本藻類学会30周年記念事業寄付者名簿

4月28日現在

秋山優 安達六郎 新崎輝子 有賀祐勝 安藤一男  
 EM資材 石川依久子 石橋勇人 市村輝宜 伊藤市  
 郎 今津達夫 今堀宏三 巖佐耕三 岩崎英雄 梅崎  
 勇 梅林脩 大内三郎 大田啓一 大野正夫 大葉英  
 雄 大房剛 大森長朗 岡崎恵視 岡部作一 奥田一  
 雄 奥田弘枝 遠部卓 海洋生物環境研究所 笠原和  
 男 梶村光男 片田実 加藤君雄 加藤光秋 金網善  
 恭 神谷平 川嶋昭二 川端清策 神田智之 協和醗  
 酵工業(株) バイオ開発部 清末忠人 楠元守 熊野茂  
 神戸市立須磨水族館 小林艶子 小林弘 小村精一  
 斎藤俊一 斎藤実 斎藤謙 阪井與志雄 佐藤忠勇  
 静岡県水試・山田信夫 新村巖 瀬戸良三 造力武彦  
 大日本インキ化学工業(株) 生物化学事業部・浜田三郎

高木勝行 高橋永治 高橋正征 タカラゲン(株) 下田  
 工業 田沢伸雄 館脇正和 田中次郎 田中剛 千葉  
 尚二 千原光雄 月館真理雄 出口眞 寺本賢一郎  
 電力中央研究所・寺脇利信 東京久栄(株) トーマス  
 科学器械(株) 時田郁 徳田廣 中沢信午 長島秀行  
 南雲保 西澤一俊 日本海難防止協会 野沢治治 野  
 田光蔵 白寿保健科学研究所(株) 長谷川由雄 原慶  
 明 博屋商行(株) 福島博 福代康夫 藤田隆夫 藤  
 田征晴 藤山虎也 舟橋説往 北海道栽培漁業振興公  
 社・菊池健三 堀口万吉 堀輝三 正置富太郎 増田  
 道夫 松井敏夫 町田益己 丸山晃 三浦昭雄 三上  
 日出夫 水沢政雄 水谷善彌 ミツワ理化学工業(株)  
 宮地和幸 宮地重遠 森宏枝 森通保 藪熙 山岸高  
 旺 山本海苔研究所 横浜康継 吉崎誠 吉田忠生  
 渡辺信 渡辺信 渡辺仁治 渡辺真之

(50音順, 敬称略)

# 日本藻類学会

## 講演会・懇親会のお知らせ

本学会では日本植物学会第47回百周年記念大会の関連集会として、講演会・懇親会を下記の通り開催しますのでご出席戴きたくご案内申し上げます。

1. 日 時： 昭和57年9月28日（火）17：30～20：30
2. 場 所： 国立教育会館 6階 中会議室（B会場）
3. 演 題： (1) ヨーロッパの珪藻のタイプ標本について  
(小林 弘氏，東京学芸大学教育学部生物学教室)  
(2) ケンブリッジ・カルチャー・センターを訪門して  
(原 慶明氏，筑波大学・生物科学系)
4. 懇親会費： 1,500円

なお準備の都合上ご出席される方は下記宛9月20日までにお申し込み下さるようお願い申し上げます。懇親会費は当日、植物学会大会受付にて申し受けます。

〒252 藤沢市亀井野1866  
日本大学農獣医学部教養  
大島海一氏宛  
(TEL 0466-81-6241)

